

行動や様子から気持ちを読む

つかえる国語 四年

1 まい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 「はずかしい」気持ちを表している様子の文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア ほおが赤くなり、下を向いた。

イ 口をとがらせて、そつばを向いた。

ウ 目を大きく開けて、息をのんだ。

エ むねをはって、前を見た。

答え

2 ㊦・㊧に合う言葉を「うれしい・くやしい・不安な」からえらんで書きましょう。

ボールが取れなくて、㊦ 気持ちでくちびるをかんだ。

かけっこで一番になり、㊧ 気持ちで手をふった。

㊦

㊧

3 人物の性格を表す言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

ア さびしい

イ やさしい

ウ ねむい

エ がんこな

答え

答え

4 次の文の弟の気持ちに近いものを、一つえらびましょう。

弟は、もらったおもちゃをだきしめて、はなさなかった。

ア おもちゃが重くて、こまっている。

イ おもちゃがうれしくて、大事にしたい。

ウ おもちゃが気に入らず、返したい。

答え

行動や様子から気持ちを読む

つかえる国語 四年

2まい目 よみとる

文章と資料から読み取る

1 2 3 4

めやす15分

名前

運動会のリレーの場面です。【物語】と【人物カード】を読んで答えましょう。

【物語】

①ゴールのすぐ手前で、なつみの手からバトンがすべり落ちた。
②なつみは、ひろい上げたバトンにぎったまま、その場に立ちつくした。ほおが熱くなり、みんなの顔が見られなかった。
③そこへ、次の走者のゆずきが走ってきた。「大じょうぶ。まだ間に合う。」ゆずきは、なつみの手からバトンをそっと受け取ると、前だけを見て走り出した。
④なつみは、小さくうなずいて、ゆっくりと顔を上げた。手のひらには、バトンのあとがのこっていた。

【人物カード】

だれ	行動	気持ち
なつみ	立ちつくした	はずかしい
ゆずき	そっと受け取った	？

1 なつみが落としたものを、【物語】から三字で書きぬきましょう。

2 なつみのはずかしい気持ちが分かる様子を、ア、エから二つえらびましょう。

ア ほおが熱くなった

イ 前だけを見て走り出した

ウ みんなの顔が見られなかった

エ 小さくうなずいた

答え

答え

②のなつみの体の様子を讀もう。

3 ア・①にあてはまる言葉を、【物語】から書きぬきましょう。

③で、ゆずきは、バトンをついて受け取り、①だけを見て走り出した。

ア

①

4 【人物カード】の「？」に入る、ゆずきの気持ちに近いものを、一つえらびましょう。

ア 早く走りたくて、いらいらしている。

イ バトンをこわさないように、気をつけている。

ウ なつみをせめないで、安心させたい。

答え

行動や様子から気持ちを読む

つかえる国語 四年

3まい目 かんがえる

くらべて筋道すじみちを立てる

1 2 3 4

めやす15分

名前

【物語】を読んだかれんさんの【下書き】と
【話し合い】を読んで答えましょう。

【物語】

①ゴールのすぐ手前で、なつみの手からバトンがすべり落ちた。
②なつみは、ひろい上げたバトンをにぎったまま、その場に立ちつくした。ほおが熱くなり、みんなの顔が見られなかった。
③そこへ、次の走者のゆずきが走ってきた。「大じょうぶ。まだ間に合う。」ゆずきは、なつみの手からバトンをそっと受け取ると、前だけを見て走り出した。
④なつみは、小さくうなずいて、ゆっくりと顔を上げた。手のひらには、バトンのあとがのこっていた。

【下書き】

①なつみは、最初から最後まで、ずっとかなしい気持ちだったと思います。
②なぜなら、バトンを落として、その場に立ちつくしたからです。

【話し合い】

いくと

④で、なつみは顔を上げているよ。

ももこ

③のゆずきの言葉と行動を読もう。

1 なつみの気持ちが変わったことが分かるのは、【物語】の①～④のどのだんらくですか。

答え

2

ア～ウにあてはまる言葉を書きましょう。

考え方のとちゅう ②で立ちつくしていたなつみは、
④ではアを上げた。きっかけは、③でゆずきが「大じょうぶ。①」と言い、バトンをウ受け取ったことである。

ア

イ

ウ

3

【下書き】の直し方として、よいものを

一つえらびましょう。

ア 「かなしい」を「うれしい」に変える。

イ ④の行動をもとに、気持ちの変化を書き足す。

ウ ②の理由を消して、感想を短くする。

答え

行動や様子から気持ちを読む

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

名前

1 2 3 4

めやす10分

答え

1 「はずかしい」気持ちを表している様子の文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア ほおが赤くなり、下を向いた。

イ 口をとがらせて、そっぽを向いた。

ウ 目を大きく開けて、息をのんだ。

エ おねをはって、前を見た。

答え

ア

2 ア・イに合う言葉を「うれしい・くやしい・不安な」からえらんで書きましょう。

ボールが取れなくて、

かけっこで一番になり、

ア

くやしい

イ

うれしい

3 人物の性格を表す言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

ア さびしい

イ やさしい

ウ ねむい

エ がんこな

答え

イ

答え

エ

4 次の文の弟の気持ちに近いものを、一つえらびましょう。

弟は、もらったおもちゃをだきしめて、はなさなかった。

ア おもちゃが重くて、こまっている。

イ おもちゃがうれしくて、大事にしたい。

ウ おもちゃが気に入らず、返したい。

答え

イ

行動や様子から気持ちを読む

つかえる国語 四年

2まい目 よみとる

文章と資料から読み取る

1 2 3 4

めやす15分

答え

名前

運動会のリレーの場面です。【物語】と【人物カード】を読んで答えましょう。

【物語】

①ゴールのすぐ手前で、なつみの手からバトンがすべり落ちた。
②なつみは、ひろい上げたバトンにぎったまま、その場に立ちつくした。ほおが熱くなり、みんなの顔が見られなかった。
③そこへ、次の走者のゆずきが走ってきた。「大じょうぶ。まだ間に合う。」ゆずきは、なつみの手からバトンをそっと受け取ると、前だけを見て走り出した。
④なつみは、小さくうなずいて、ゆっくりと顔を上げた。手のひらには、バトンのあとがのこっていた。

【人物カード】

だれ	行動	気持ち
なつみ	立ちつくした	はずかしい
ゆずき	そっと受け取った	？

1 なつみが落としたものを、【物語】から三字で書きぬきましょう。

バトン

2 なつみのはずかしい気持ちが分かる様子を、ア、エから二つえらびましょう。

ア ほおが熱くなった

イ 前だけを見て走り出した

ウ みんなの顔が見られなかった

エ 小さくうなずいた

答え ア

答え ウ

②のなつみの体の様子を読もう。

3 ア・①にあてはまる言葉を、【物語】から書きぬきましょう。

③で、ゆずきは、バトンを ア 受け取り、 ① だけを見て走り出した。

ア そっと

① 前

4 【人物カード】の「？」に入る、ゆずきの気持ちに近いものを、一つえらびましょう。

ア 早く走りたくて、いらいらしている。

イ バトンをこわさないように、気をつけている。

ウ なつみをせめないで、安心させたい。

答え

ウ

行動や様子から気持ちを読む

つかえる国語 四年

3まい目 かんがえる

くらべて筋道^{すじみち}を立てる

1 2 3 4

めやす15分

答え

名前

【物語】を読んだかれんさんの【下書き】と
【話し合い】を読んで答えましょう。

【物語】

①ゴールのすぐ手前で、なつみの手から
バトンがすべり落ちた。
②なつみは、ひろい上げたバトンを
にぎったまま、その場に立ちつくした。ほおが
熱くなり、みんなの顔が見られなかった。
③そこへ、次の走者のゆずきが走ってきた。
「大じょうぶ。まだ間に合う。」ゆずきは、な
つみの手からバトンをそっと受け取ると、
前だけを見て走り出した。
④なつみは、小さくうなずいて、ゆっくりと
顔を上げた。手のひらには、バトンのあとがの
こっていた。

【下書き】

①なつみは、最初から最後まで、
ずっとかなしい気持ちだったと思います。
②なぜなら、バトンを落として、その場に
立ちつくしたからです。

【話し合い】

いくと

④で、なつみは顔を上げているよ。

ももこ

③のゆずきの言葉と行動を読もう。

1 なつみの気持ちが変わったことが分かるのは、【物語】
の①～④のどのだんらくですか。

答え

④

2 ア～ウにあてはまる言葉を書きましょう。

考え方のとちゅう ②で立ちつくしていたなつみは、
④ではアを上げた。きっかけは、③でゆずきが
「大じょうぶ。①。」と言い、バトンをウ
受け取ったことである。

ア

顔

イ

まだ間に合う

ウ

そっと

3

【下書き】の直し方として、よいものを
一つえらびましょう。

ア 「かなしい」を「うれしい」に変える。

イ ④の行動をもとに、気持ちの変化を書き足す。

ウ ②の理由を消して、感想を短くする。

答え

イ

行動や様子から気持ちを読む

つかえる国語 四年

4まい目 あらわす

考えと理由を文章で書く

1 2 3 4

めやす15分

答え

名前

かれんさんは、感想を書き直しました。【下書き】と【メモ】を読んで答えましょう。

1 【メモ】の◎二つを書き加えるとよいのは、①③のどのだんらくのあとですか。

答え

②

気持ちの変化は、はじめの気持ちのあとに書こう。

【下書き】
① なつみは、バトンを落としたとき、はずかしくて申しわけない気持ちだったと思います。

② ほおが熱くなり、みんなの顔が見られなかったからです。

③ わたしも、なつみのように、失敗した友達に声をかけられる人になりたいです。

2 ③には、人物の名前のまちがいがあります。正しく直した文を一つえらびましょう。

ア わたしも、ゆずきのように、失敗した友達に声をかけられる人になりたいです。

イ わたしも、なつみのように、バトンを落とさない人になりたいです。
ウ わたしも、ゆずきのように、速く走れる人になりたいです。

答え

ア

3 【メモ】の◎二つを使って、②のあとに書き加える文を、四十字以内で書きましょう。「きっかけ」という言葉を使います。

つかうことは

きっかけ

ゆずきの言葉と行動がきっかけで、なつみは顔を上げ、気持ちが少し軽くなりました。

【メモ】

◎ 物語のおわりで、なつみの気持ちが少し軽くなったことを書く

◎ きっかけは、ゆずきの言葉と行動

・ 感想は原こう用紙二まいまで

◎ = ぜひ書きたい